



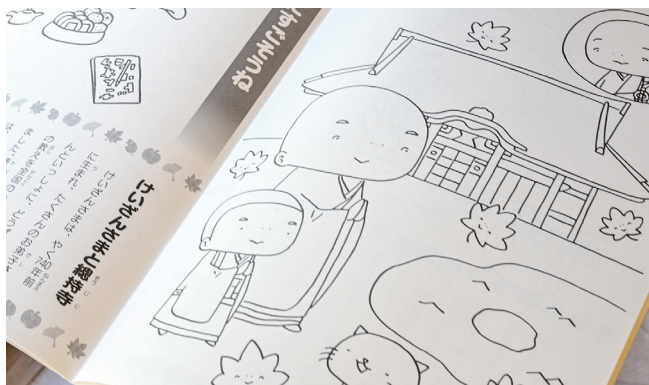
## 全国曹洞宗青年会の 活動紹介 三十九

### 全曹青頒布物『ナムナムぬりえ』のご紹介

副会長 岡島 典文  
おかじま てるぶん

今回は頒布物『ナムナムぬりえ』をご紹介します。お釈迦さまや身近な仏さま、お盆や三仏忌などの仏教行事を可愛らしいイラストにし、年間を通してお使いいただけるよう、月々に因んだ十二種類の塗り絵を収録しています。また、仏教と禅の教えに触れることができる解説も付いており、楽しく学べる頒布物となっております。

コロナ禍以前に大本山總持寺まで開催されていた「つるみ夢ひろば」では、全曹青でこの塗り絵を使用したブースを設置し、多くのお子さまにお楽しみいただきました。



『ナムナムぬりえ』十一月「けいざんさまと總持寺」

この『ナムナムぬりえ』のイラストを手掛けたのは、山形曹洞宗青年会所属、秀林寺住職の遠田旭有師えんた きたとゆうです。遠田師のこれまでの取り組みや、絵に対する思いをご紹介します。

小さい頃から漫画を読み「明日を生きる希望」を見出していたという遠田師は、漫画家を目指しイラストを描き続けていました。漫画家になる夢は叶いませんでした。僧侶になってからも絵を描くことは好きで、誰に見せるわけでもなく、密かに描き続けていたことでした。

遠田師の絵が多くの方々目に



「つるみ夢ひろば」ぬり絵ブースの様子

留まる転機となったのが、平成二十一（二〇〇九）年曹洞宗宗務庁発行の『禅の友』の挿し絵を依頼されたことでした。以来、遠田師のイラストを見た方々からの縁が繋がっていき、多くの宗門関係者より出版物のイラストや挿し絵の依頼を受けておられます。これまで宗務庁より頒布されている『ののさますごろく』や『たのしくまなべる禅かるた』、大本山永平寺さまの『道元さま』のイラストを手掛けるなど、宗門において欠かすことのできないイラストレーターです。

人に寄り添うことのできる僧侶を目指されている遠田師が、イラストを描くときに心がけていることは「自分が楽しく描くことと、手に取った方に笑顔で温かい気持ちになっていただくこと」と話し

ます。そんな遠田師の人柄が滲み出るような全曹青の『ナムナムぬりえ』は、お子さまとともに家族で楽しみ、ふれ合いの時間をお持ちいただくことのできる頒布物です。

子ども坐禅会や寺院法要での記念品として、幼稚園や学校行事での教材として、そして仏教に馴染みの少ない若い世代への布教教化の一助としてお役立てください。



オンラインショップ  
オショベラ  
全曹青  
イン購入  
内はこ

●執筆者プロフィール

副会長 岡島典文

愛知県第一曹洞宗青年会所属  
第二十一期総合企画委員長